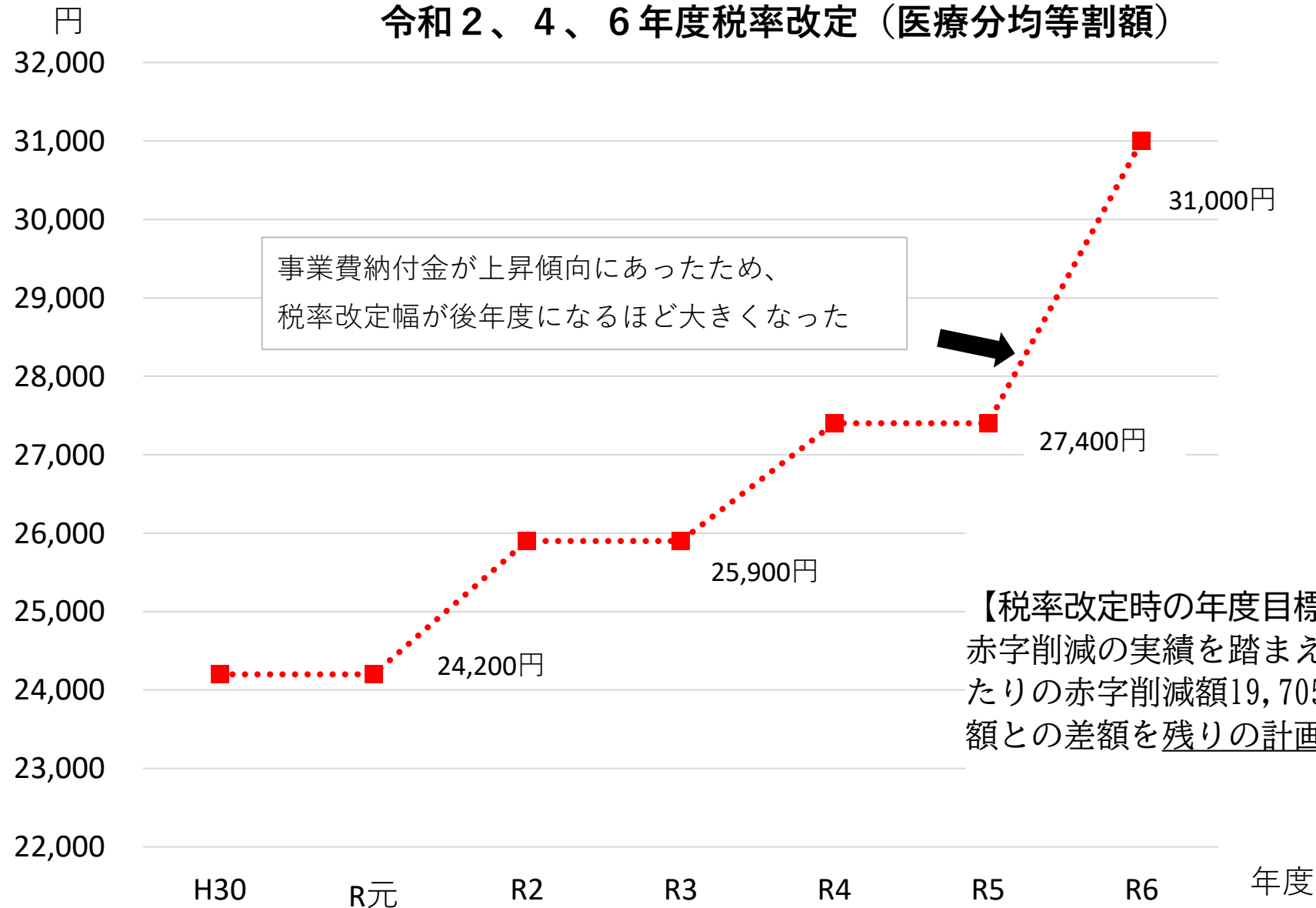


武蔵野市の
均等割額

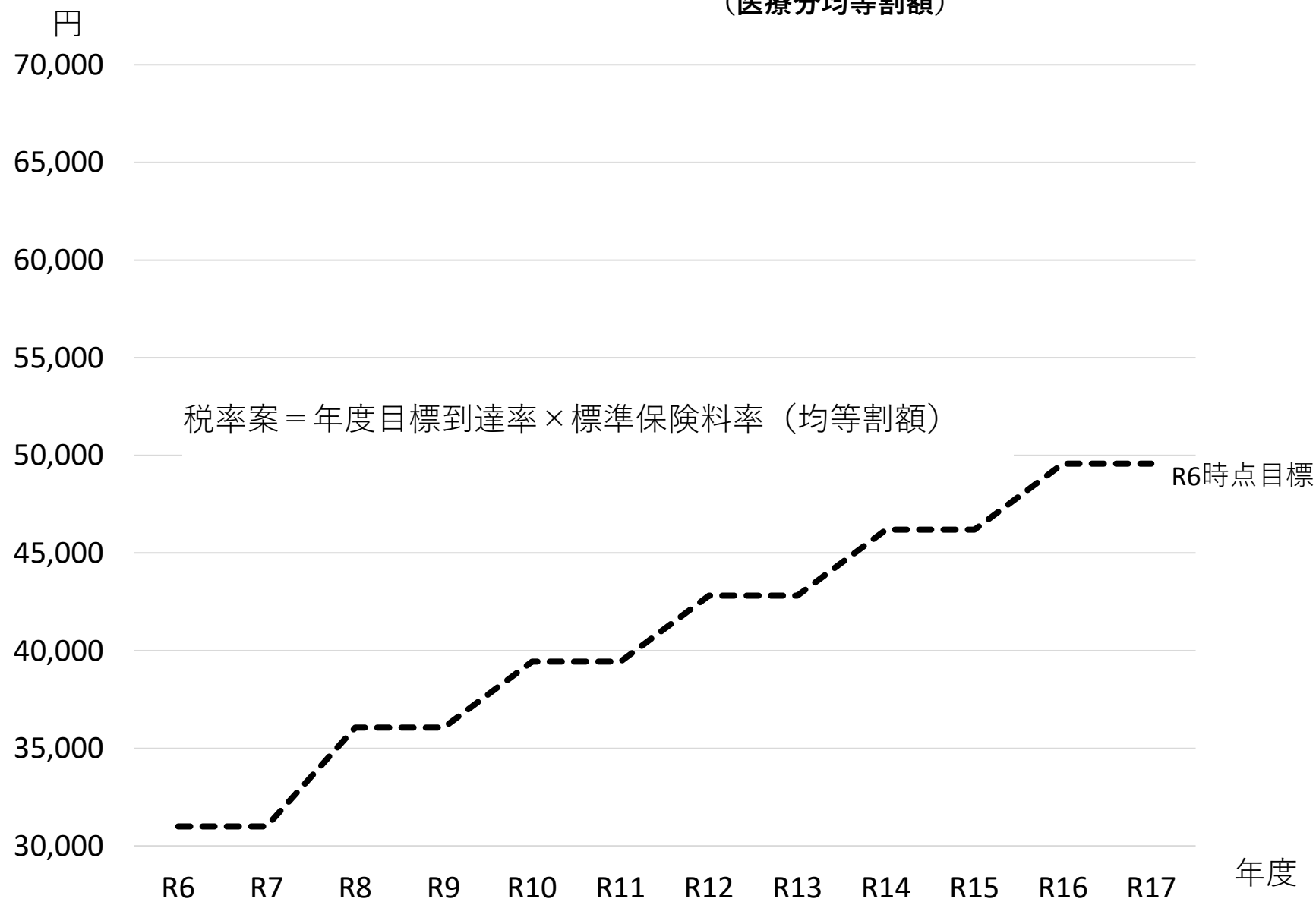
これまでの税率改定と今後の税率改定のイメージ

令和2、4、6年度税率改定（医療分均等割額）



均等割額
税率案

今後の税率改定のイメージ ～標準保険料率に変動がなかった場合～ (医療分均等割額)

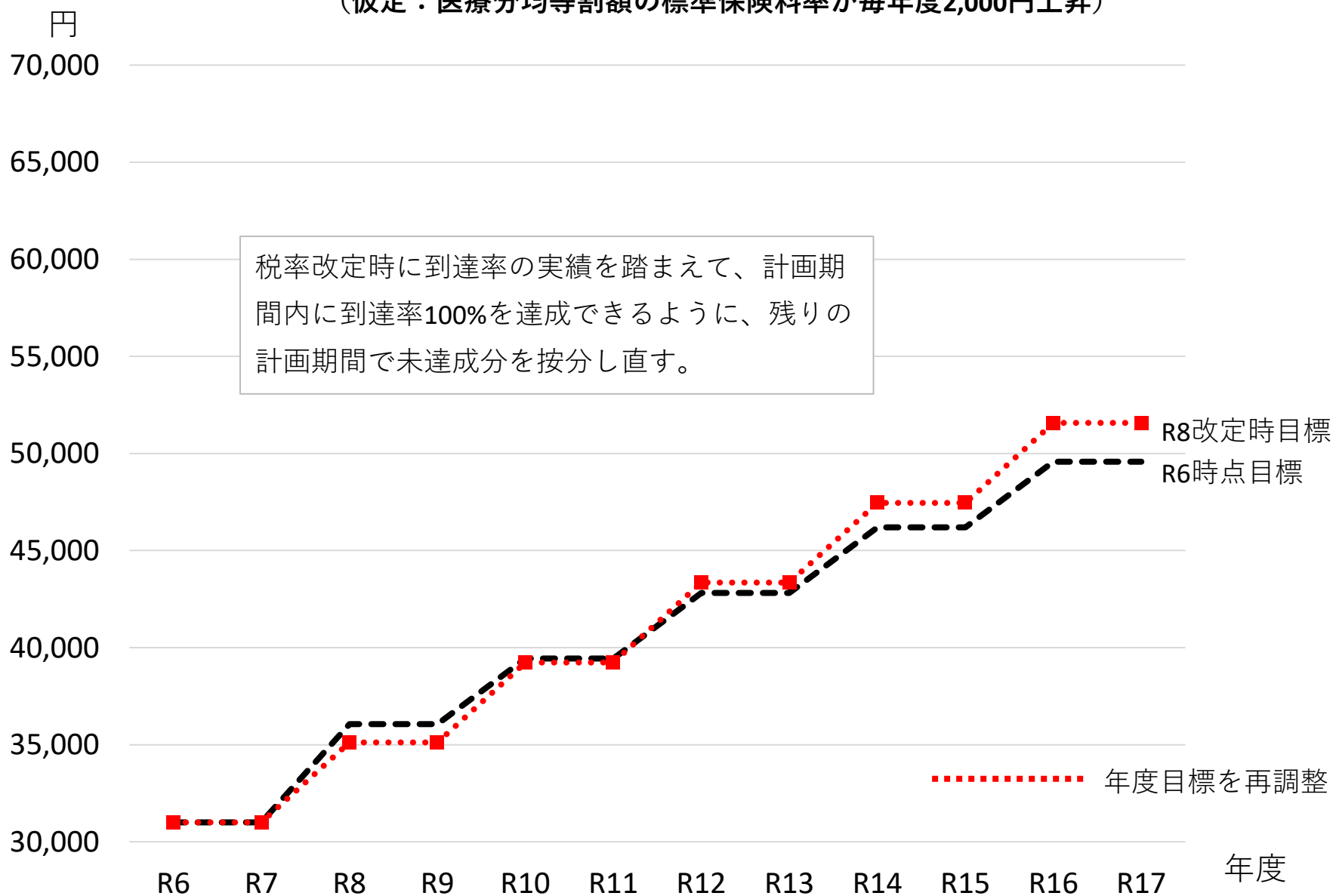


均等割額
税率案

税率改定時に到達率の未達成分を按分し直す（年度目標を再調整）

（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）

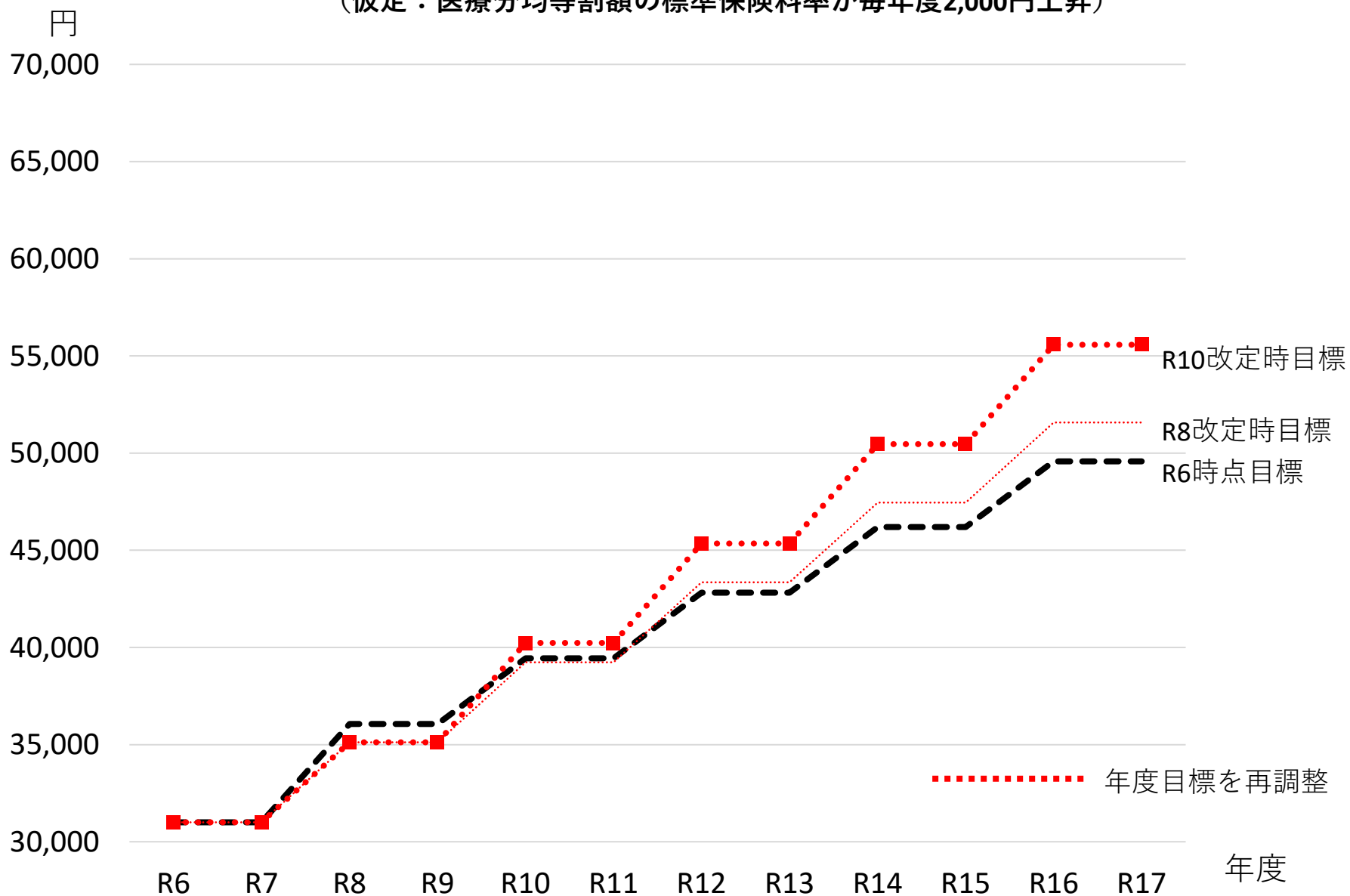
税率改定時に到達率の実績を踏まえて、計画期間内に到達率100%を達成できるように、残りの計画期間で未達成分を按分し直す。



均等割額
税率案

税率改定時に到達率の未達成分を按分し直す（年度目標を再調整）

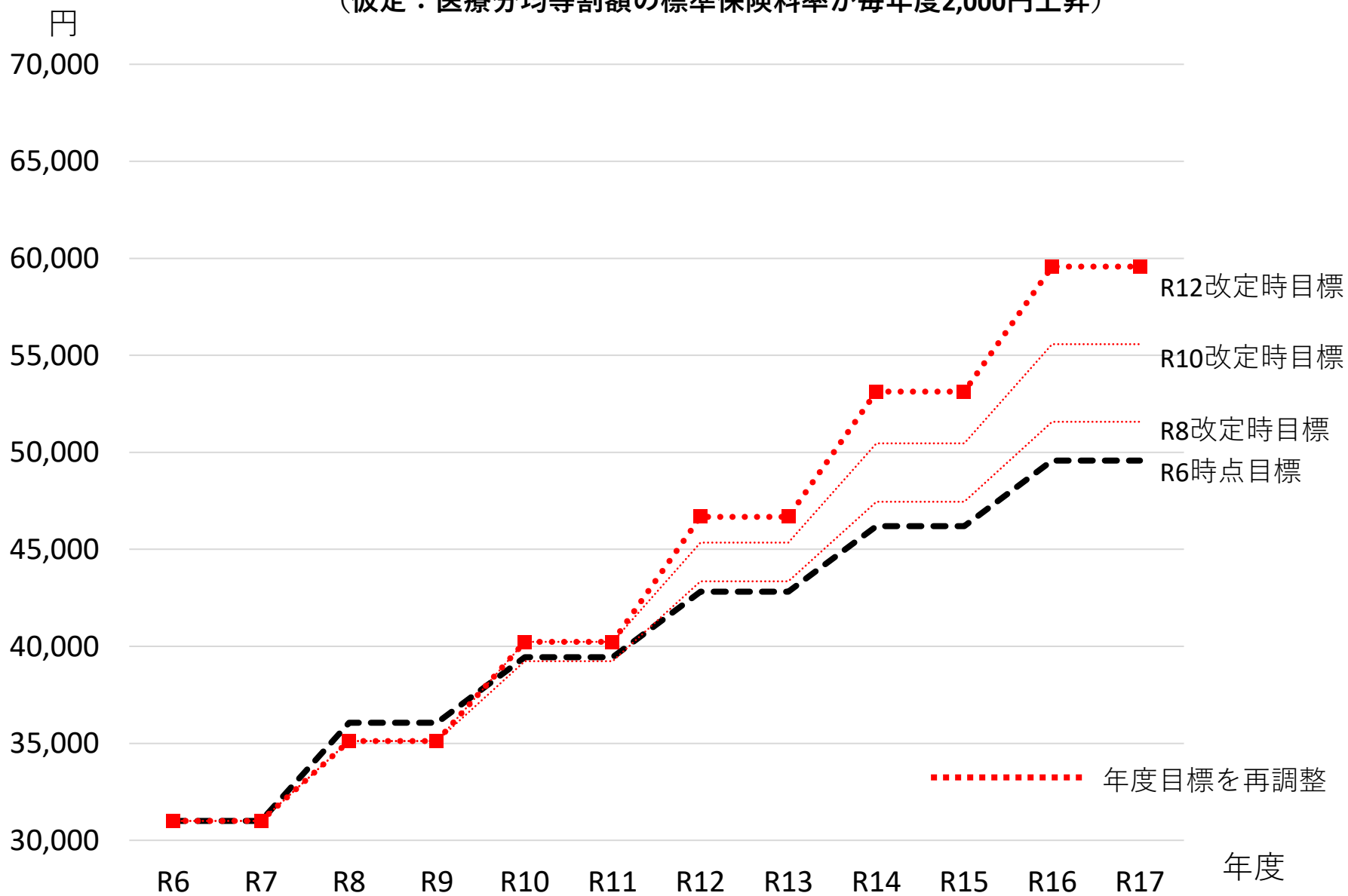
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

税率改定時に到達率の未達成分を按分し直す（年度目標を再調整）

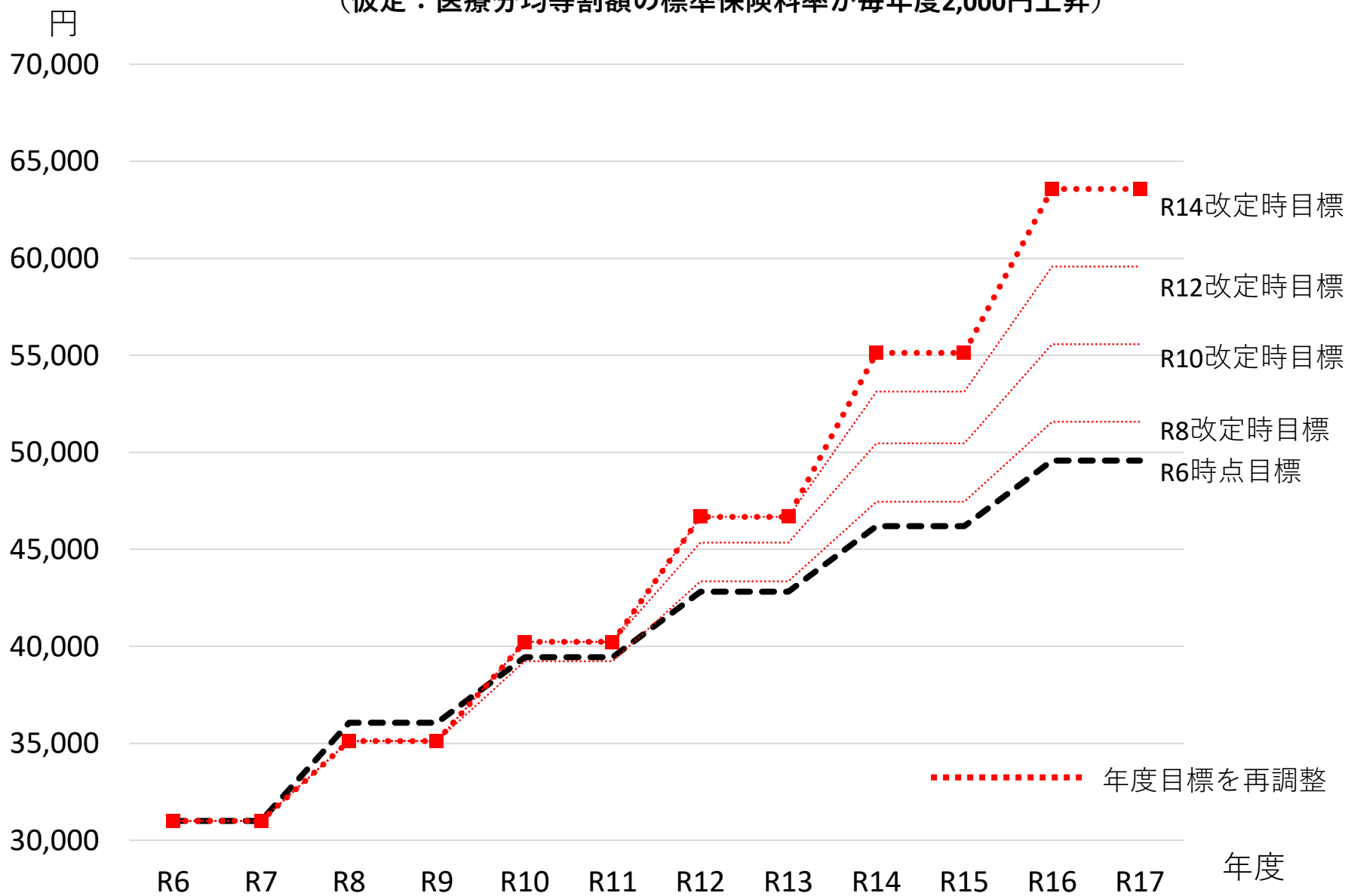
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

税率改定時に到達率の未達成分を按分し直す（年度目標を再調整）

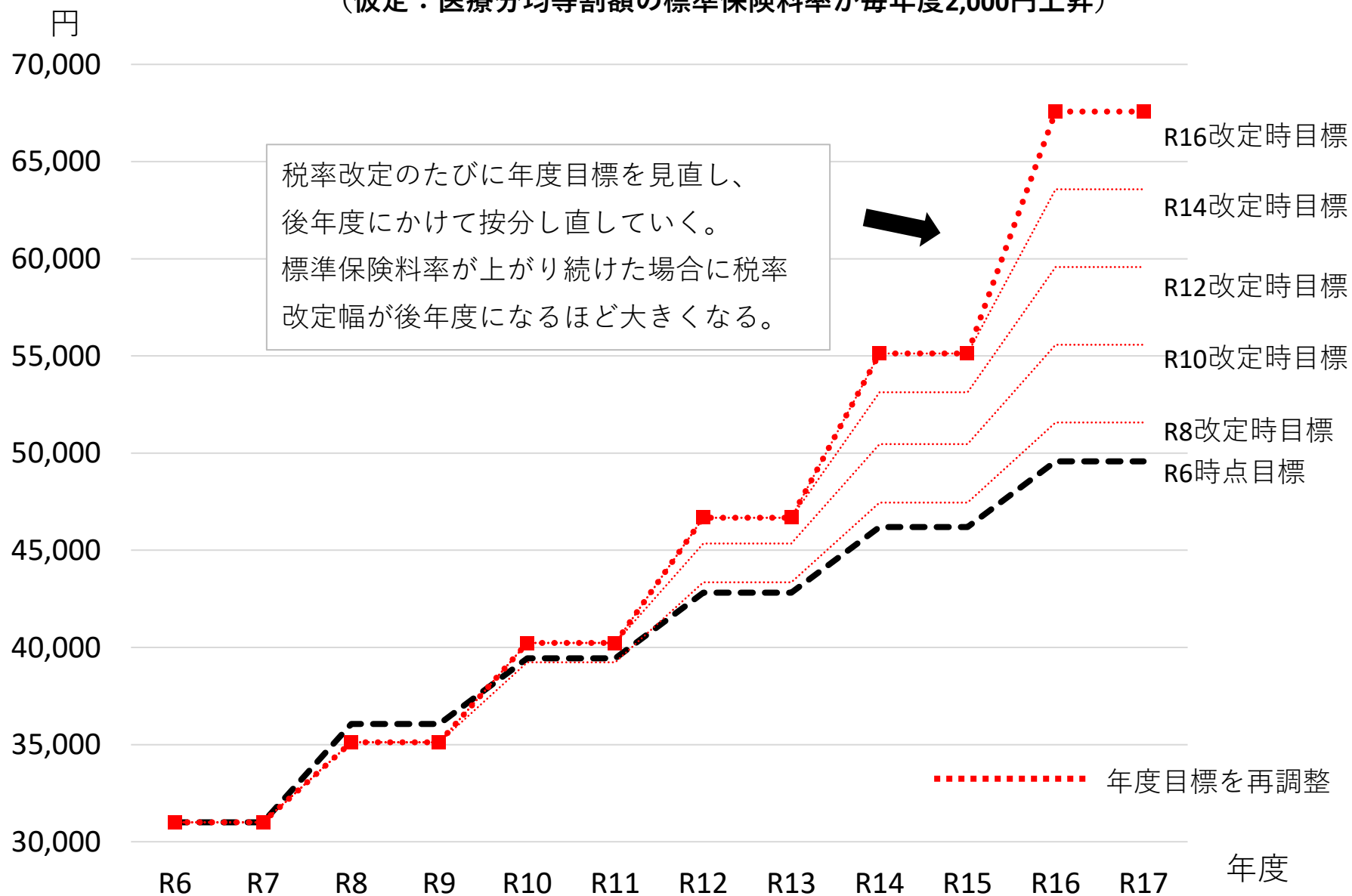
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

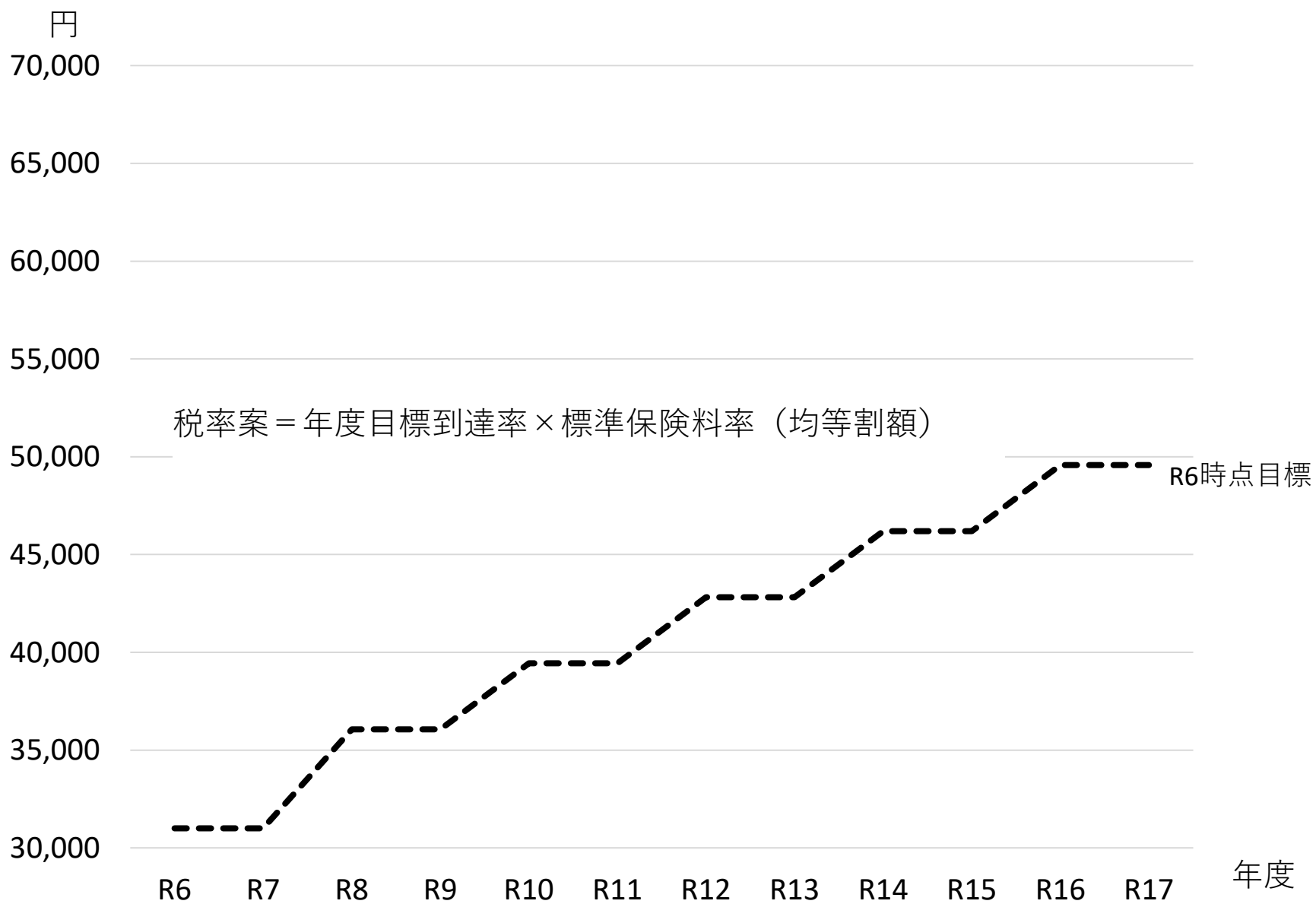
税率改定時に到達率の未達成分を按分し直す（年度目標を再調整）

（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

後年度における急激な負担増を防ぐために



均等割額
税率案

税率改定時に年度目標の達成を図る（年度目標は固定）

（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）

円

70,000

65,000

60,000

55,000

50,000

45,000

40,000

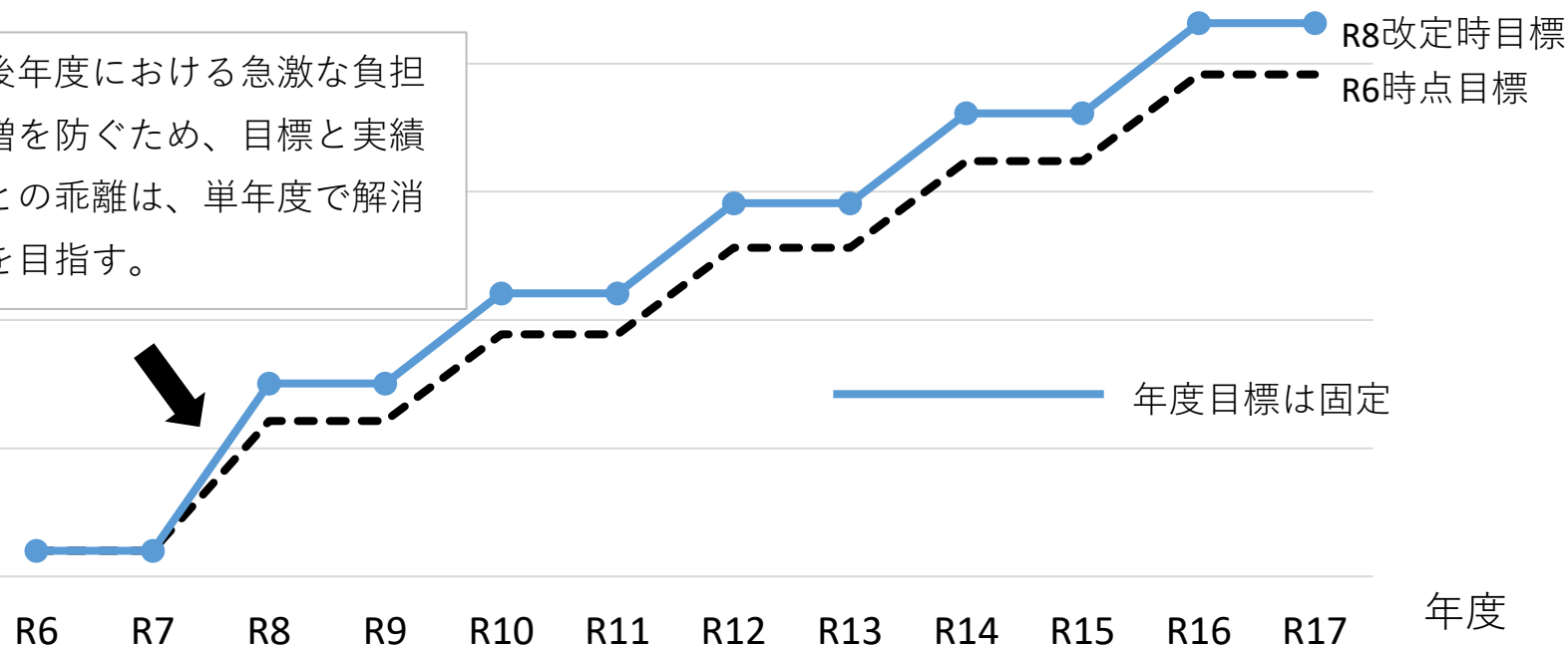
35,000

30,000

【税率改定時の年度目標の考え方】

標準保険税率の変動によって目標と実績に差が生じた場合であっても、基本的に年度目標は変更せず、年度目標とした到達率の達成を目指す。計画に定めた年度目標（到達率）に標準保険税率を乗じて税率改定案とする。但し、被保険者の急激な負担増が見込まれる場合には、年度目標の調整・平準化を行う。

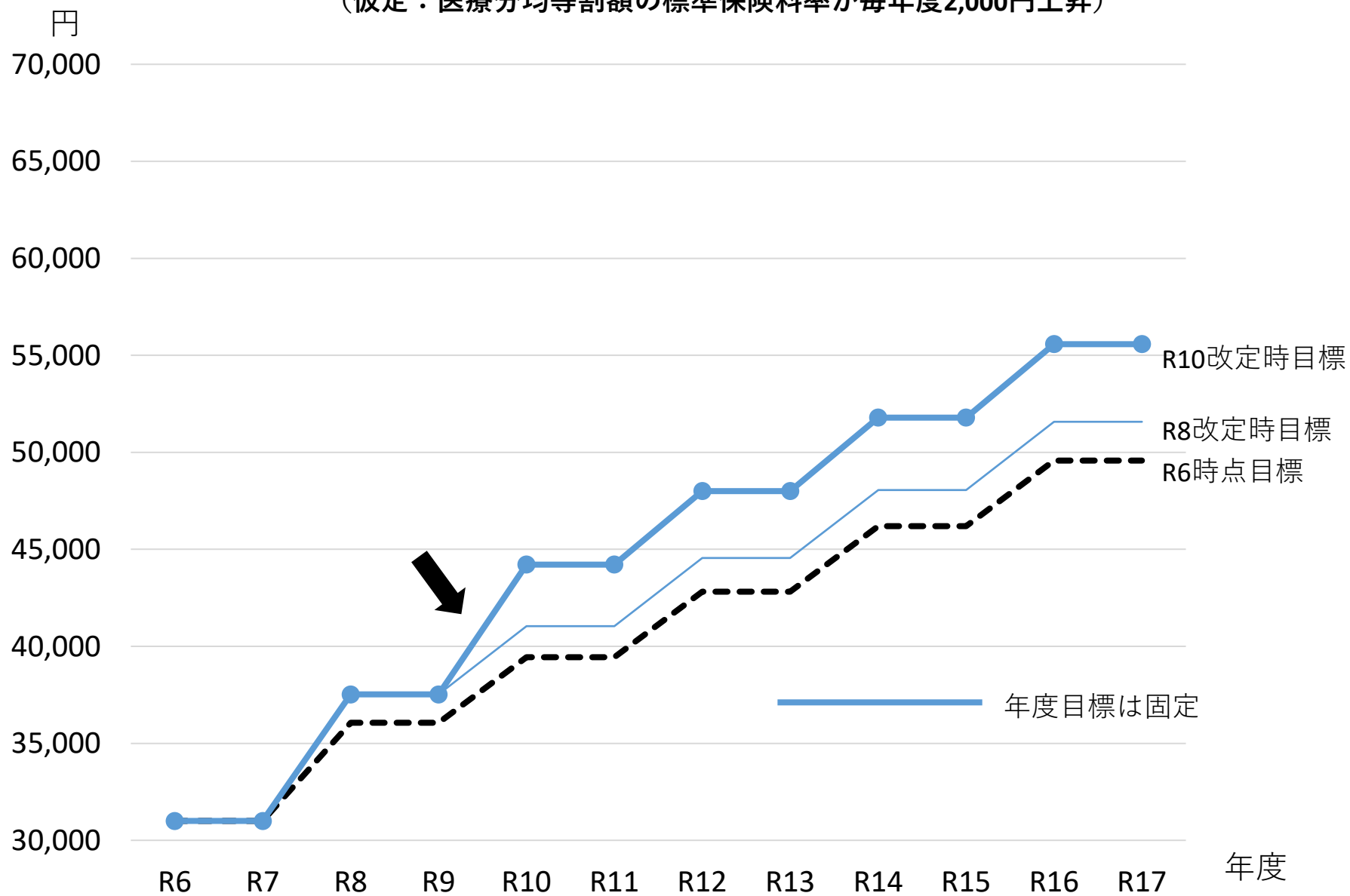
後年度における急激な負担増を防ぐため、目標と実績との乖離は、単年度で解消を目指す。



均等割額
税率案

税率改定時に年度目標の達成を図る（年度目標は固定）

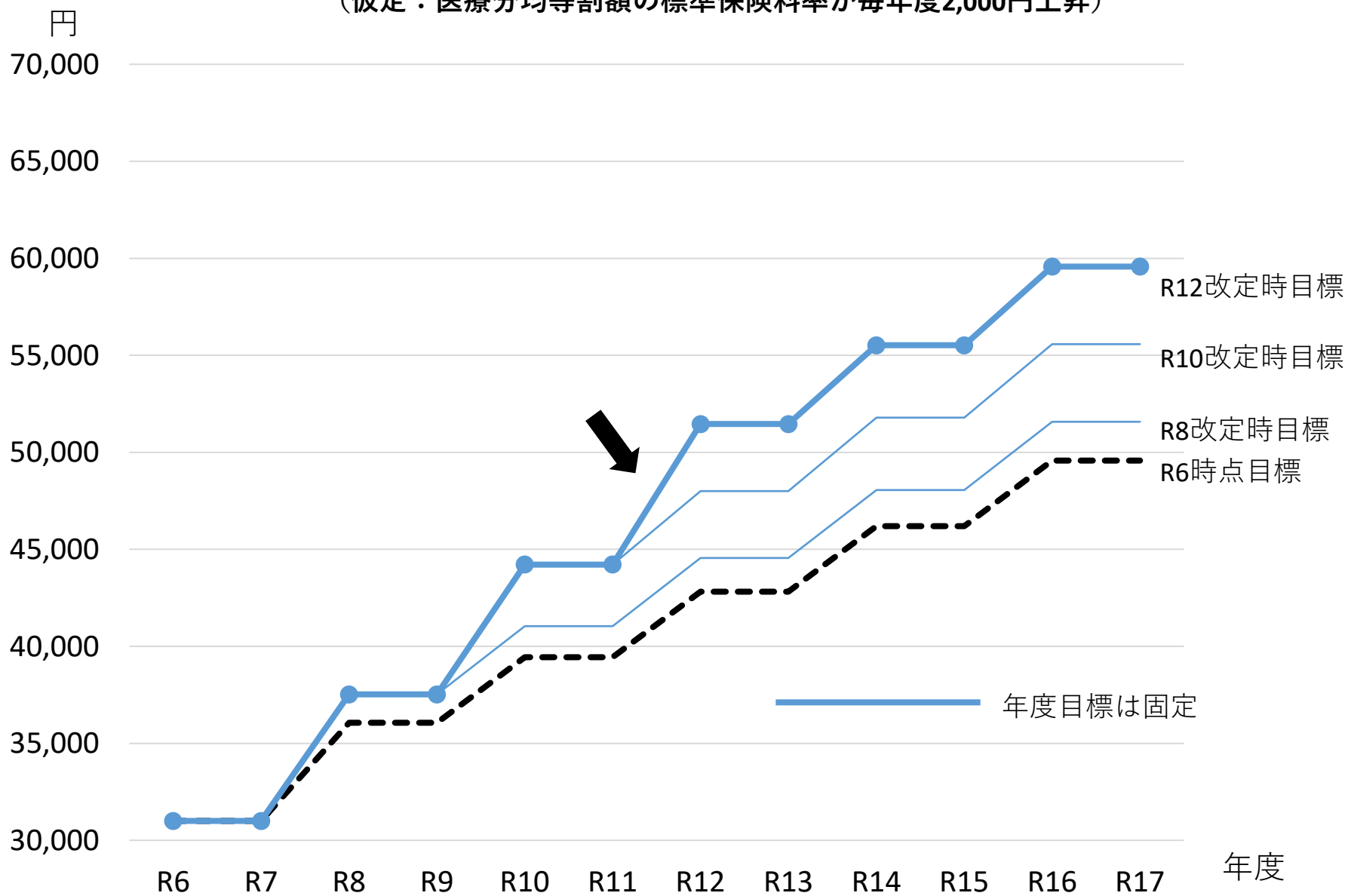
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

税率改定時に年度目標の達成を図る（年度目標は固定）

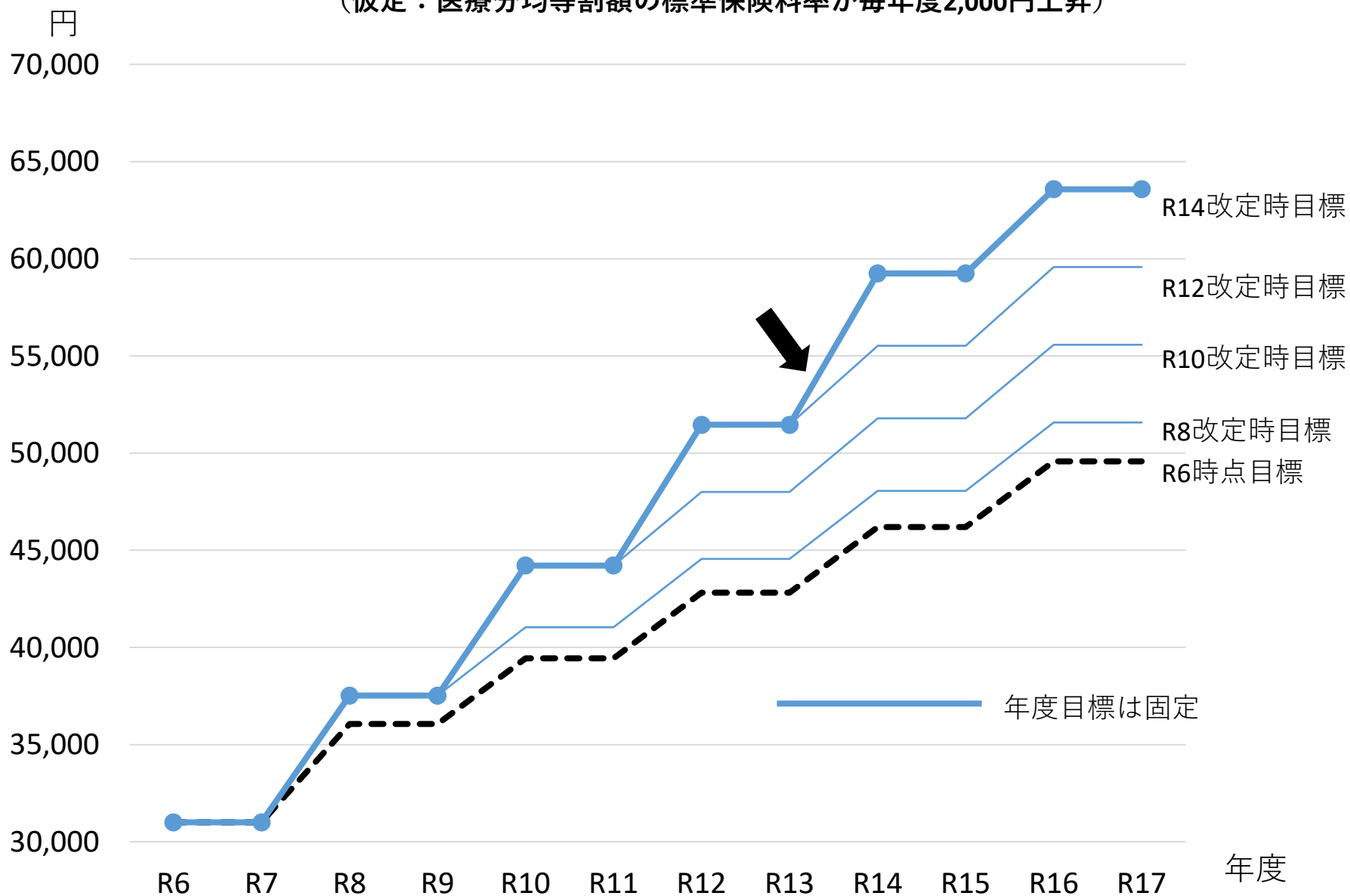
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

税率改定時に年度目標の達成を図る（年度目標は固定）

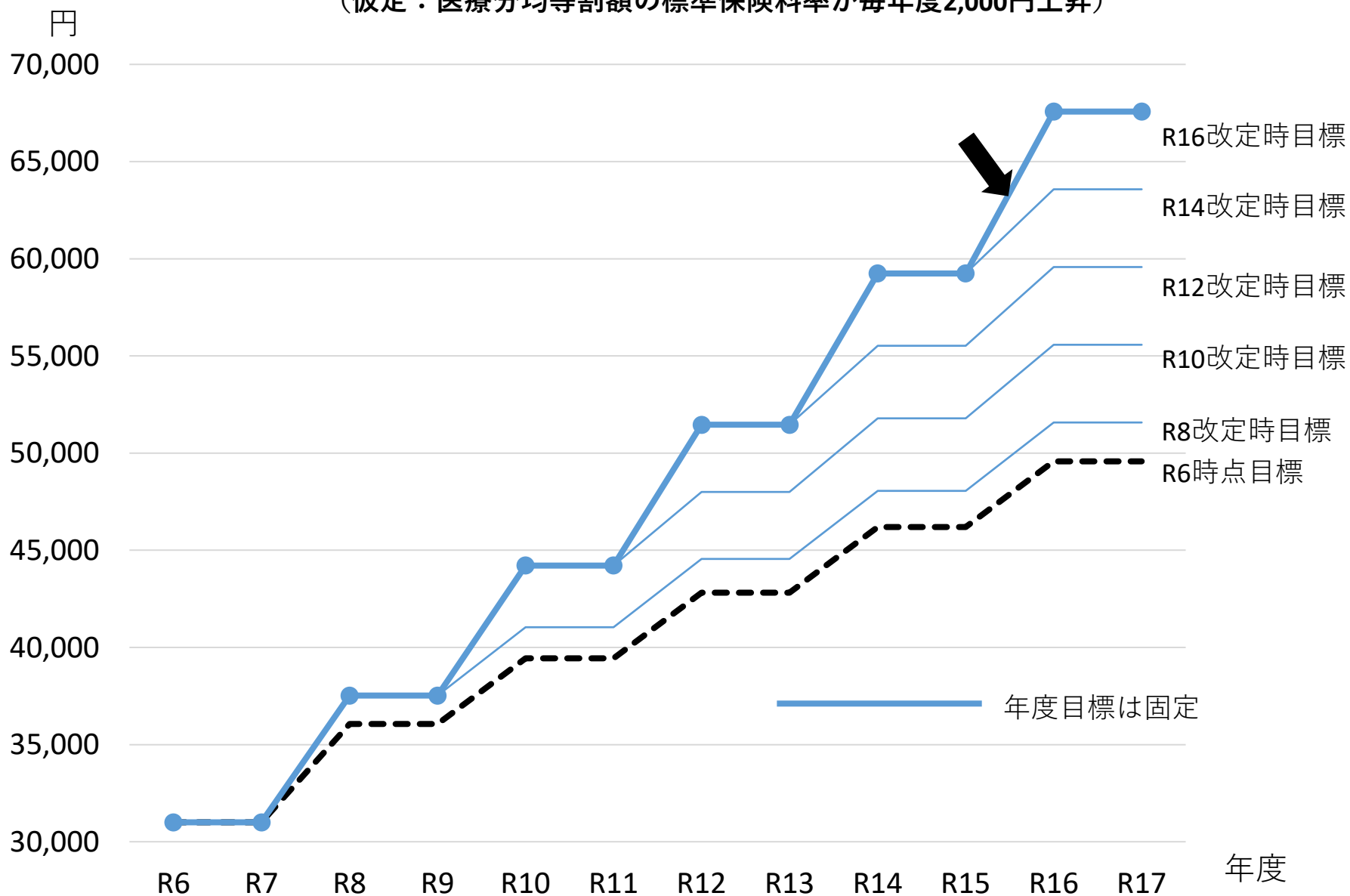
（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



均等割額
税率案

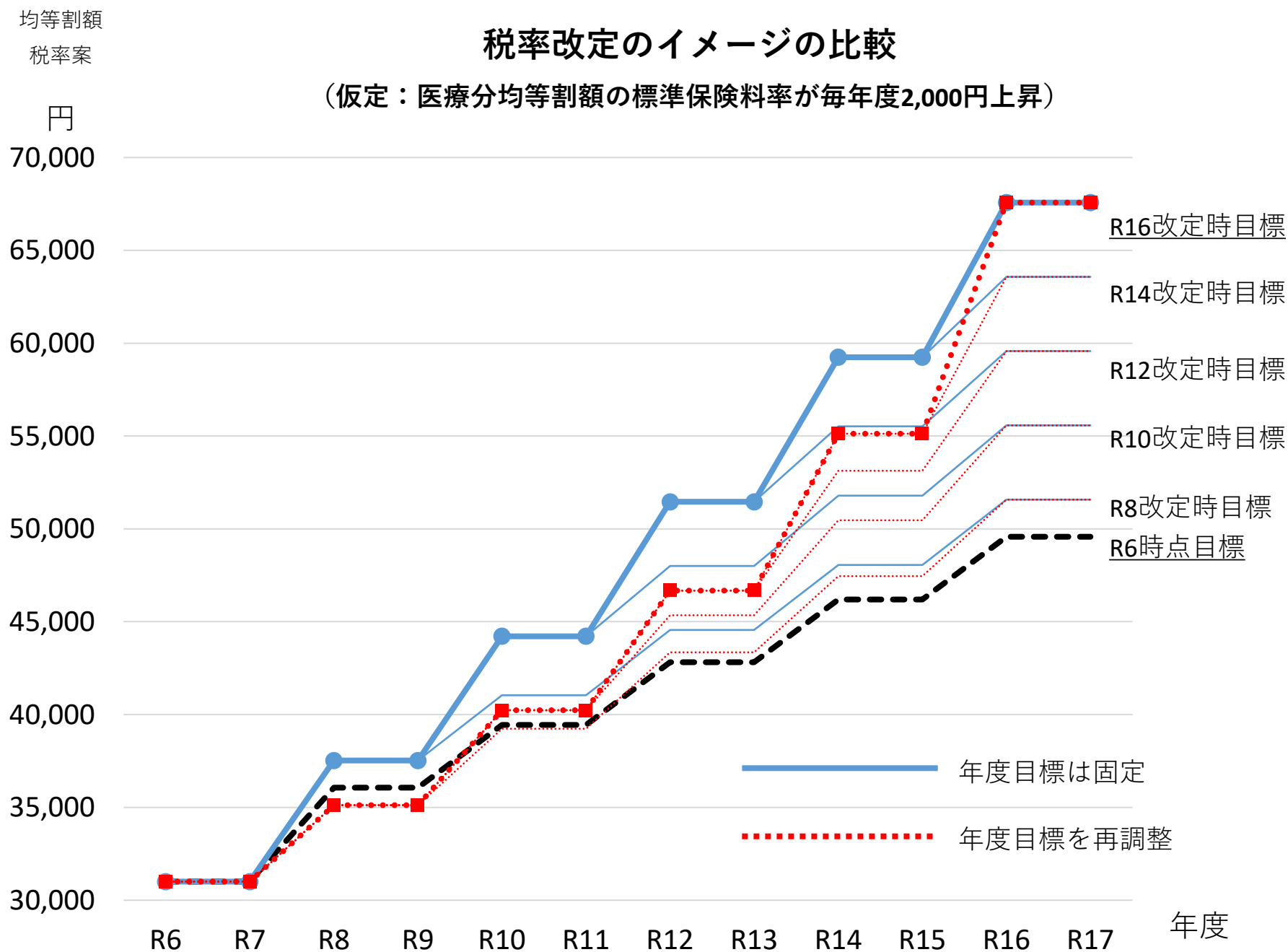
税率改定時に年度目標の達成を図る（年度目標は固定）

（仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇）



税率改定のイメージの比較

(仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇)

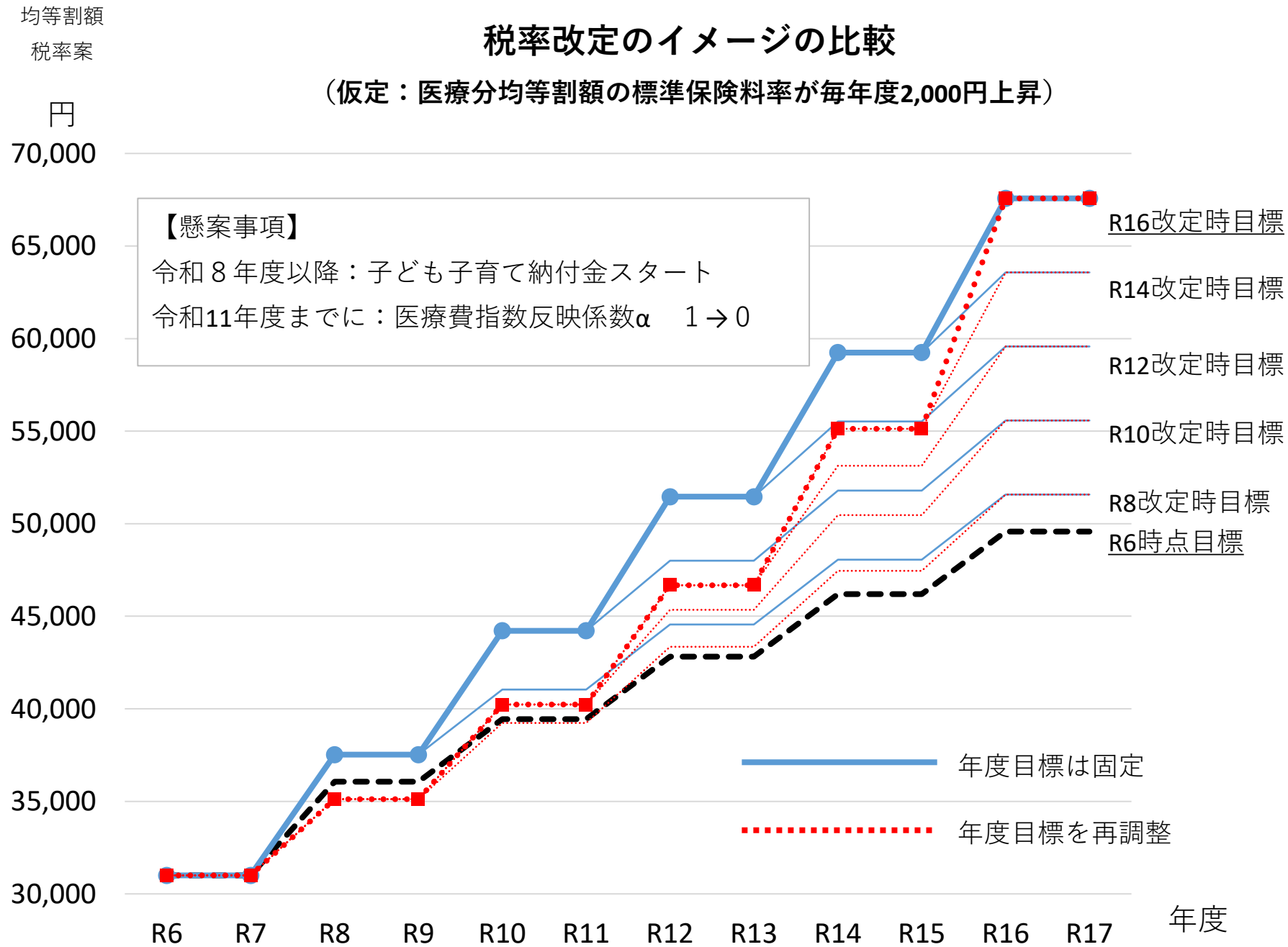


税率改定のイメージの比較

(仮定：医療分均等割額の標準保険料率が毎年度2,000円上昇)

【懸案事項】

令和8年度以降：子ども子育て納付金スタート
令和11年度までに：医療費指数反映係数 α 1→0



税率改定時における年度目標の考え方

	現行計画	年度目標を再調整	年度目標は固定
目標と実績に差が生じた場合の対応	・ 税率改定以降の年度目標を見直し、残りの計画期間で按分する。		・ 税率改定時に年度目標（到達率）の達成を目指すため、目標は見直さない。
メリット	・ 標準保険料率が上がった場合の税率の改定幅を小さく抑えられる。		・ 目標が動かないため分かりやすい。 ・ 策定した計画に沿って進めることができる。 ・ 標準保険料率が上がり続けた場合に、後年度に急激な負担とならない。
デメリット	・ 標準保険料率が上がり続けた場合、後年度になるにつれて税率の改定幅が大きくなる。 ・ 税率改定のたびに目標が見直されるため分かりづらい。		・ 標準保険料率が上がった場合に税率の改定幅が大きくなる。